

## 2019年6月22日 中東時事アップデート

アミール・ツアルファティ

- ペルシャ湾クライシスに関するアップデート -

[https://youtu.be/Bk\\_3ONgdHDA](https://youtu.be/Bk_3ONgdHDA)

皆さん、シャローム。アミール・ツアルファティです。今回は、ペルシャ湾クライシス（危機）に関するスペシャルアップデートです。

非常に多くの憶測と、非常に多くの誤った情報が、偏見に満ちたメディアによって発表されています。私は彼らをミデヤン人と呼んでいます。イスラエルのメディア、ヨーロッパのメディア、アメリカのメディアのどれもが、基本的には、アメリカの大統領とアメリカ政権の議員、アメリカ合衆国の同盟国の決断が、極悪であるかのように描写しています。それについては、のちほどお伝えします。それから、明日、エルサレムで行われることについても説明します。

歴史的な会議が、他にもなく、エルサレムで行われます。アメリカ合衆国の国家安全保障問題担当顧問と、ロシアの国家安全保障問題担当顧問、それとイスラエルの首相が、エルサレムでシリアに関して会議をします。皆さん、イランにとっての悪夢は、シリアの将来が、他にもなく、エルサレムで話し合われることです。それについては、のちほどお話ししますが、その前にお話ししたいのは、もちろん誰もが知っている通り、数日前、1億7600万ドル以上する米国海軍のドローンが、イランによって撃墜されました。この、RQ-4A グローバルホーク無人機は、海軍バージョンの米国海洋監視航空機で、非武装の飛行機です。これは略奪者ではなく、ロケットやミサイルで武装されておらず、偵察を任務とした、純粋な監視用飛行機です。この驚くべきことが数日前に起こり、イラン革命防衛隊が、いくつかのドローンの部品の写真を持って、自慢していました。そこで問題は、これはまだ明らかになっていませんが、ドローンが飛行していたのは、イランの領空だったのか、それとも国際領空だったのか？米国は、イランの領空ではなかったと主張し、イランは、領空内であったと主張しています。挑発的な行為は、もちろん彼らがドローンの1部を見せびらかしたことです。彼らはまた、35人のアメリカ兵を乗せた監視航空機を攻撃することも出来た、と。これは、もちろん彼らの言い分です。彼らは「あえてそれをしなかった」とイランが、そう言いました。

また、私達に分かっているのは、ドローンが撃墜されてから数時間後に、トランプ大統領が就任間近の新しい国防副長官に会い、そして国家安全保障問題担当顧問と、それから長官にも会い、また、リンゼー・グラムといった政治家たちにも会いました。そして彼らの大半が大統領に言ったのは、「おそらくこの状況では、軍事的報復がふさわしいだろう」。現地のアメリカ軍が攻撃するまで、4時間の期間が設けられました。しかし1時間後に、ミッションは中断されました。アメリカの大統領はツイッターに投稿し、後にカメラの前で発言しました。「私は、戦争を求めているのではない」

そこで多くの方が、彼はただ口先だけで、実行しないのか？ただ脅すだけで、本番になるとおじけづくのか？など、さまざまなことを言っていますが、1つお伝えしておきます。私がこれを言う理由は、私達もガザとハマスで全く同じ状況にあるからです。我々にとってのハマスと、アメリカにとってのペルシャ湾にいるイランは、両方とも軍事的対立に関心を持っており、それは彼ら次第です。その規模や威力、そのタイミングに関して、彼らは、そのタイミングと方法、それが行われる場所、誰がそれに関わるかなど、そのすべてを支配したいのです。それが彼らの利益であって、彼らは相手に血を流させ、それも長期間流血させたくて、あなたがたを辱めたいのです。そして彼らは、あなたがたを誰も勝つことのない戦争に引きずり込みたいのです。なぜかと言えば、狙いはイラン政権を倒そうとしているアメリカではなく、イランの核プログラムを破壊する全面戦争でもありません。ほかでもなく、小規模な報復で、誰にも、どこにもつながらないようにすることです。トランプ大統領は、ここにワナがあることに気がつきました。実際には、イランが関心を示

している軍事的対立とは、小規模で、彼らのやり方、彼らのタイミング、彼らの場所で行うことです。そして彼らは、現在、アメリカを挑発しています。ここで非常に明確にしておくべき事は、まったく同じことを、現在、ハマスがイスラエルに対して行っている、ということです。彼らは、イスラエルが現地で小規模な軍事的報復を行うことを狙っています。それにより、のちにネタニヤフが選挙で敗北するようにするためです。1つ、イランが切望していることがあるとしたら、それは彼らの詐欺行為を、アメリカの選挙運動にまで引っ張り、トランプ大統領に恥をかかせること。そして、来たる大統領選で、彼が敗北することです。それだけです。

次に、とても興味深いのは、トランプ大統領が数週間前、すでに確認していたのは、アメリカの政治家の領域で、ジョン・ケリーといった要員が、どうすればアメリカ政権やアメリカ当局に恥をかかせることができるのかということ、実際にイランにアドバイスをしていました。つまりイランの欺きがあり、イランの罠があったのです。ですから、トランプ大統領は、正しい決断を下したと私は思います。彼は正しい決断を下し、ほんの数分前に発表して、「さらなる制裁がある」とツイッターに投稿しました。

さて、イランはさらなる制裁が加えられると、彼らの経済の90%が数ヶ月の内に崩壊するでしょう。これはイランに対して数発のロケットを発射して、数人を殺すよりもずっと大きな効果があります。トランプ大統領は、誰よりもそのことを理解しています。彼がペルシャ湾に軍を駐留させているのは、全面戦争のためではありません。これは、イランに対抗して決定されましたが、また、石油輸送船が引き続き通れるようにするためでもあります。はるかオマーンやカタール、首長国連邦（UAE）、これらの国々から来る船は、ホルムズ海峡を渡らなければなりません。そして彼は、これらの石油輸送船が邪魔されることなく通過できるようにしているのです。ただ、間違っただけではありません。石油価格は現状から見れば、すでに1バレル100ドルになっているはずで、それがほんの数日前、1バレル52~53ドルでした。いまは57ドルか、もう少し高いかも知れません。ただ、イランはあらゆるインチキをもってしても、石油価格を引き上げることが出来ませんでした。今日、アメリカが世界最大の石油輸出国だからです。そのため、湾岸の石油大国から石油を送る事ができない時には、いつでもアメリカが、それらの国に石油を提供します。ですからアメリカは、この危機の中で勝利していて、また、実際にはそこから利益を得ています。そして、最大の石油輸出国であるため、価格を低く維持することが出来ているのです。理解しておいてください。世界のあの地域から、圧倒的に石油が送り出されていた時代は終わりました。ですから、確かにあちらでの危機はあるでしょう。事実、アメリカの兵士があちらにいるのは、アメリカがその地域の同盟国を守るためです。そのために、彼らはあそこにいるのです。石油価格や石油流出のためには、アメリカは、あちらで石油輸送船を守る必要はありません。アメリカは、すでに世界最大の石油輸出国です。

ということで、私達はとても興味深いことを目撃しています。とても面白いのは、イランは自分たちが何をしたのか分かっていません。ドローンを撃墜したことによって、とても多くの民間航空会社が、ペルシャ湾上空の飛行を中断したのです。つまり、イランがした事の結果、基本的には航空会社がイランを交戦圏であると見なしました。それはイランが最も避けたいことで、彼らが異常であるかのように扱われたり、「彼らから距離を置くべきだ」と思われたくないのです。そこでイランはいま、言っています。「いやいや、違う。上空は安全で、すべて良好だ。これからもペルシャ湾上空を飛行しても大丈夫だ」と。しかし、航空会社は言っています。「私達は、あなたがたを信用しない。あなたがたはドローンをロケットで撃墜した。そのことが、あなたがたが上空の安全を守っていないことを意味している」ですから、このことがすでにイランにとっては逆効果で、さらに大きく裏目に出るかも知れません。現在イランは、アメリカの制裁によって、あまりにも追い詰められているために…、ところで数日の内に厳しい制裁が加えられます。これは実に賢明ですよ。イランは異なる2つの領域で活動しています。1つは彼らの民兵をイラクに置き、もう一つは、彼らの民兵をイエメンに置いています。

では、イラクの状況について、少しお話ししましょう。イラク政府は、イランとの親密な関係を楽しんでいるのと同じくらい、あちらでのアメリカの兵士の存在を必要としています。ISISが復活、蘇生する危険が、とても大きいのです。ISISは完全には根絶されておらず、彼らはいま、砂漠で再結成をしています。アメリ

カ兵がイラクを出れば、その瞬間から、ISISが再び動き出し、あの地域を再び占領するのは、時間の問題です。したがって、イラク政府には、あそこにアメリカの存在が必要なのです。それで、彼らはイラク国内での、イランによるアメリカ兵に対する攻撃を容認しません。アメリカは、イラク西部に巨大な軍事基地を所有しています。彼らにはそれが必要なのです。

かたや、イエメンのフーシ派です。もちろんこれは、イランの後押しによって、サウジアラビアを攻撃しています。これがとても興味深くて、私は1週間前にアテネから報告しましたが、初めてフーシ派が、サウジの領土を占領しました。それほど大きくはありません。しかし、それでも彼らは、もはや外側からサウジアラビアを攻撃してはいません。いまやサウジ国内を占領していて、そして、前進をしています。アブハーという街がアスィール地方にあって、このアブハー市は、サウジアラビア南部のイエメン国境から、さほど遠くない場所に位置します。基本的にその街はフーシ派による人質状態で、彼らはアブハー空港を、ほぼ隔日のように撃ち、また、アブハー原子力発電所やサウジ軍の軍事基地を攻撃しています。ただ、おそらく皆さんはご存じないでしょうが、1300年に渡るスンニ派とシーア派の間の対立は、イスラムにとって最も聖なる地の最終的支配を巡るもので、メッカが、当然、第1です。信じがたいことですが、アブハーは、国道15号線に位置するサウジの都市で、メッカまで北西に350マイル（約563km）です。ですから、いったんその都市を占領すれば、高速道路に沿って進撃し、フーシ派はメッカに到着。そこを占領するというシーア派の夢を成就します。ですから、イランとアメリカとの間の戦争や、西欧社会とムスリム界との戦争を皆さんが恐れる前に、ひとつお伝えしておきます。イスラム界は激しく分断していて、彼らが世界中でクリスチャンや他の宗教関係者を殺害する以上に、彼らはお互いに殺し合っています。アブハーは、もちろん素晴らしい場所で、もし彼らがそこを占領し、メッカに向けてさらに前進するなら、そこはランドマーク（目印）になると私は思います。

それからもう一つ、皆さんにお伝えしたいのは、ジョン・ボルトンは、すでに到着していますが、明日、ロシアの国家安全保障問題担当顧問がやって来ます。ネタニヤフ首相と我々のチームも同様にエルサレムで会合を開きます。これは歴史的なことで、ロシアとアメリカとイスラエルが、エルサレムで会議を開き、シリアの将来について話し合うのです。皆さん、理解しておいてください。イランにとって、これは悪夢です。ロシアは、この会議の中でイランの利益を代弁すると発表しましたが、イランとロシアは、シリアを同じようには見ていないことを、私たちは知っています。シリア国内でのイランの地位確立に対して、イスラエルが活動することをロシアが認めているという事実が、いまの時点では、ロシアはイランのシリアにおける拡大に興味を持っていないということを物語っています。しかしながら、我々の最大の味方であるアメリカが、ユーフラテス川の東側と、シリアの油田とガス田のすべてを占領しているという事実が、ロシアは気に入りません。ロシアは、そのことで激怒しています。ですから、当然ロシアは、アメリカの友として、イスラエルの味方としては、そこに行きません。ただひとつ確かなのは、イランとの問題、彼らの首を絞めている制裁、そして、シリア北部での恐ろしい問題以来、我々とシリアとの国境は、超、超静かです。つまり、私達は周辺の至るところで問題を目にしてはいますが、それでいて私達の国境は、この2週間、これ以上ないほどに静かです。私達は、怪しい動きを目撃した時にはいつでも、イラン勢力の新しい武器の搬送であれ、他の危険であれ、イスラエルは当然、いまも活動しています。ただ皆さんにお伝えしておきたいのは、イスラエルに対するイランの活動の危険は、この2日ほどの間、イスラエルの国防省で話し合われています。イランは、アメリカに仕返しをするために、出来るなら我々を攻撃したいと思っているが、いまの時点では、彼らにはそれは出来ないだろうと、私達は信じています。

聖書は、私達に実に具体的に告げています。イランがイスラエルに攻めてくる時は、単独ではやってきません。イランは、ロシュが率いる同盟軍に加わります。これはロシアであると私は信じています。それとゴメルとトガルマはトルコで、それにリビヤとスーダン。これらの国は、いま非常に混沌としていて、間違いなく、彼らの経済崩壊と現在の状況に対する鬱憤が、イスラエルに敵対して攻め込む同盟軍を形作るのを助長するでしょう。イスラエルは引き続き繁栄していて、私達は、このすっきり狂った近隣諸国の中で正気を保っているのです。ですから、私達が目撃しているのはとても興味深いことで、ペルシャ湾では大きなクライシ

ス（危機）が起っていますが、それでいてイスラエル主催で、状況に関してロシアとアメリカの会議がエルサレムで行われるのです。

サウジアラビアの国防省のトップが、イスラエルのサウジアラビアを援助する方法について話し合うために、エルサレムに到着しています。信じがたいことですが、私も自分の言っていることが信じられませんが、実はサウジは、彼らの問題、イランが支援している民兵との問題に関して、イスラエルに相談しているのです。サウジが実際に言っています。よく聞いてください。私も、つい先ほど読んだばかりですが、2時間前、サウジが次のように発表しました。「イスラエル（とサウジ）との間で戦争していた時代は終わった」その選択肢は、もはや交渉には上りません。これは特記すべき出来事です。よく考えてみてください。

聖書は私達に2つのことを、ずっと告げてきました。第1に、イスラエルに攻め込む戦争が起こることを私達は知っていますが、サウジもエジプトも湾岸諸国も、もちろんヨルダンも、それに加わりません。しかし聖書はまた、告げています。サウジは、イスラエルに対する攻撃を非難します。さらに聖書は告げています。終わりの時、エジプトは大患難を生き残るだけでなく、千年王国の間、毎年、仮庵の祭りを祝うためにエルサレムに上って来ます。そして聖書は、ゼカリヤ書14章で、これらの国々について語っています。彼らのうちのいくつかは生き残り、その大戦争から残されます。興味深いのは、ペルシャについて私達は聞かず、トルコについて私達は聞かない。そしてロシアやスーダン、リビアについても私達は聞きません。彼らは、主によって完全に滅ぼされるのです。イスラエルによるものではありません。彼らは滅ぼされます。しかし、彼らに味方しなかった他の国々はイスラエルの側につき、彼らは生き残ります。これがとても興味深いのです。

今日、私は自分の教会で、千年王国に関する説教をしました。大患難の終わりと千年王国の初めの素晴らしい描写は、預言者ゼカリヤです。ゼカリヤ書14章は、次のように描写しています。もちろん、この戦争はエルサレムで起こり、これは皆さんがハルマゲドンと呼ぶ大患難最後の戦争です。彼が言っているのを見てください。

**エルサレムに攻めて来たすべての民のうち、生き残った者はみな、毎年、万軍の主である王を礼拝し…  
（ゼカリヤ14章16節）**

イエスが戻って来られる時に、私達も、彼と一緒に戻って来ます。その時、彼は御座をエルサレムに創設し、そして残ったこれらの国々は・・・言い換えれば、残らない国々がある、ということです。そして聖書は、エジプトに関して告げているのを私達たちは見ることが出来ます。こうあります。

**もし、エジプトの氏族が上って来ないなら、雨は彼らの上に降らず、（ゼカリヤ14章18節）**

言い換えれば、エジプトは残ります。私はゼカリヤ書14章16節以降を読んでいます。エジプトは残り、そして彼らは毎年、エルサレムに上ってきます。だから私は、イスラムが消滅しなければならないと言っているのです。もし彼らが、まだ他の宗教を信じているのなら、王の王イエスを礼拝しに上るということはありませんから。しかし、ポイントはそこではありません。ポイントは、他の国々はどこもエルサレムに上ってこない、ということです。これらの国の内、どこも生き残らないのです。エゼキエルの国々の内、どれひとつとして、そこにありません。その他のものがあるのです。これはとても興味深いことになります。なぜなら、エジプトとアッシリアの間に大路が出来、イスラエルは千年王国の間、そこに存在します。繰り返しますが、これはイランではなく、トルコでもない。スーダンでもなく、リビアでもない。そして、確実にロシアではありません。現在、私達はとても興味深いことを目撃しています。ですから、皆さんを励ましたいと思います。これらすべての出来事から…。様々なことが起っていますが、私はアメリカとイランとの戦争や、イランとイスラエルの間の戦争に関して、早急に結論を出しません。戦争は起こります。そして、これは嵐の前の静けさであることを私達は知っています。しかしこれは、アメリカとイランとか、イランとイスラエルの間の戦争ではなく、もっと大きな戦争で、もっと大きな同盟です。これがあまりにも大きく、

あまりにも大規模なため、神のご介入が必要になります。神が超自然的現象と自然大災害を用いて軍隊を滅ぼされます。非常に興味深いことが起こります。その時には、私達はここから出ていることを願います。私は、私達がここにおいて、エゼキエル戦争を見ることのないように願い、祈ります。しかし、もし私たちがまだここにいるなら、おそらく、それが私達がここを出る前に最後に目撃するものとなるでしょう。なぜなら、その直後に、いかにして平和がもたらされるかを、私達にははっきりと見えていますから。おそらくそれはニセの平和で、そしておそらく、それによってユダヤ人がエルサレムに神殿を建設することになります。そして後に、気がつけば神殿は建ったものの、そこに間違った人物が入りこみ、彼のことを神として拝むように命じます。ですから、見事な約束があるのです。そして興味深いことに、神は、私達がこれらすべての約束を知ること望んでおられ、それには理由があるのです。

ひとつお伝えすると、今日のあなたの決断が、明日のあなたの行き先を決定します。今日のあなたの決断で、あなたの居場所、あなたの行動が決まります。もし、今日、あなたがイエスに従うことを選ぶなら、あなたは明日、彼と共に治めます。もし、今日、あなたがイエスを否定することを選ぶなら、あなたは明日を見ることさえないかも知れません。また、次のことを理解しておくのはとても重要です。神の御言葉が言っています。私達は、イエスと共に治めるだけではなく、また、彼が戻って来られる時は、世の救い主としてではありません。それは初臨です。彼は、世を裁くために戻って来られます。『義をもってこの世界をさばく』（使徒の働き17章31節）と聖書は告げています。言い換えれば、これは不当で残酷な裁きではなく、それは神の正義の表れであり、人間の怠慢、無関心、そして邪悪の悲しい表れとなります。このために主は、私達全員が主と共に治めることを許されるのは、一日や二週間ではなく、千年の間なのだと思っています。

千年間の千年王国は、サタンがおらず、イエスが地上の支配者としておられ、神権政治がエルサレムで打ち立てられます。そこには神殿があり、自然が調和し、動物は互いに敵となったり、食い合うこともありません。もう、毒蛇もおらず、驚くべき自然の回復が起こるのです。イスラエルの砂漠の真ん中に泉が出来て、水があふれ出ます。非常にたくさんの驚くべき事が千年王国の間に起こります。それでも、千年王国の終わりが来て、サタンが一時の間、解き放たれると、地球の四方から大ぜいの人々が彼に加わり、その数は海辺の砂のようだと言っています。つまりそれは、その直後にイエスの大いなる裁きの白い御座が起こり、それは驚くべき義の裁きの表れとなることを意味します。千年の間、わたしはここにいるが、あなたがたにわたしは見えない。サタンはいません。サタンは底なしの穴の中にいます。自然は美しく、すべてが完璧です。すべてが平穏で、すべてが繁栄していて平和があり、調和があります。それが、サタンが一時の間、解き放たれると、皆が行うのは、彼に駆け寄り、彼に加わって、神に愛された聖徒たちに敵対して、陣営を張ります。そしてその時、天から火が降り、彼らが滅ぼされます。そしてその時、サタンは永遠の永遠に、火の海に投げ込まれるのです。つまり私が言いたいのは、私達は終わりを知っているのです。皆さん、私は今日、説教台に立って、確証を持って言うことができるのです。イザヤ書46章9節から10節で、神が告げておられます。

**わたしが神である。ほかにはいない。わたしのような神はいない。わたしは、終わりの事を初めから告げ、まだなされていない事を昔から告げ、『わたしのはかりごとは成就し、わたしの望む事をすべて成し遂げる。』**と言う。（イザヤ46章9節から10節）

神が、終わりのことを告げ、だから、私たちは知っているのです。そして今日、私達がそれを知っている理由は、また今日、私達が学ばなければならない理由は、今日の私達の反応が、明日の私達の居場所を決定づけるからです。もし今日、私達がイエスを受け入れなくても、千年王国でまだチャンスがある、とは聖書は告げていません。皆さん、今日イエスを否定する人は、おそらくだれも千年王国にはたどり着く事がないでしょう。皆さん、考えてみてください。聖書は第2テサロニケ2章で、次のように伝えています。

**なぜなら、彼らは救われるために真理への愛を受け入れなかったからです。それゆえ神は、彼らが偽りを信じるように、惑わす力を送り込まれます。（第2テサロニケ2章10節から11節）**

つまり、いま彼らはイエスを否定して、そして嘘を信じるのです。そうすると大患難の最中、とくに黙示録16章で見られる通り、神が地球に降りかかる事を認める大惨事でさえ、彼らは悔い改める事がなく、彼らは神の御名を冒します。神には、これらの災いを治める力がある事を彼らが知っているにも関わらずです。21の出来事、封印、ラッパ、それから鉢、これらが7つずつ、恐ろしい出来事が起こります。それでも、彼らは受け入れません。これは本当に悲しい現実です。神は、私達に言っておられます。「わたしは、初めから終わりのことを知っている」神は、言っておられるのです。「わたしは、人々がどういう決断をするのか知っている」ですから、もしあなたが人に信頼を置いているなら、事態が良くなるなどと一瞬たりとも考えずにはいけません。言うておきますが、救いはイエスです。言うておきますが、彼が答えです。彼が道であり、真理であり、いのちです。そして、神が私達に言っているのです。もし今日、あなたが神に属しているなら、たとえ苦しんだとしても、あなたは彼と共に治める。しかしもし、今日、あなたが彼を拒むなら、彼は、父の前であなたの事を拒みます。ですから、これが非常に重要なのです。今日、私達が世界中で目撃しているのは驚くべき事です。しかし、そのことによって私達はまず、もうすぐ主が戻って来られる事を、ますますワクワクするべきです。そしてそれ以上に、主が来られるまで、私達は従事しなければなりません。彼が来られるまで、時が良くても悪くても、私達は世界中に御言葉を宣べ伝えなければなりません。

私は昨日、ギリシャとトルコから帰ってきたばかりです。あちらでツアーを引率して、聖書的な土地を訪れてきました。アテネとコリントとエペソ、パトモス島、クレタ島、ロードス島、そこで目にした事は、素晴らしかったです。あちらで人々はパウロを見て、ヨハネを見、ペテロを見ていました。そこにいた人たちはものすごい事を見たのです。使徒の働きが目の前で繰り広げられました。16章、17章、18章、19章、20章。私たちは、そのすべての場所を訪れましたが、私たちが目にしたのは、人々が信じたアルテミスやアポロ、アテナやゼウスといったギリシャの神々です。あれは驚きでした。彼らはものすごく盲目になっていて、そのアテネの中心で、パウロが言ったのです。

**神は、そのような無知の時代を見過ごしておられましたが、今は、どこでもすべての人に悔い改めを命じておられます。なぜなら、神は、お立てになったひとりの人により義をもってこの世界をさばくため、日を決めておられるからです。…」（使徒の働き17章30節から31節）**

ですから、主は言うておられます。「救われる道がある。あなたは悔い改めなければならない。裁きが起こる事を忘れてはならない」あなたの周りにある、あらゆる神々は、過去には神は見過ごしておられました。しかし今は、どこでもすべての人に悔い改めを命じておられます。これを理解しておくことは、とても重要です。

ところで、去年、私がギリシャの現地で教えたメッセージの動画、「バイブルランド・アンベールド」が、つい先ほど発売を開始しました。Facebookやウェブサイト、アプリで詳細をご覧ください。後でYouTubeでも公開しますが、今はDVDの購入もしくはデジタルダウンロードをご購入いただけます。後ほど、YouTubeでも無料で公開します。このメッセージは、皆さんにとって祝福になると確信しています。私はさらにエペソやその他、トルコでもメッセージの撮影や、ヨルダンやエジプトに行く事も計画しています。私たちは御言葉を宣べ伝え、御言葉を教えなければならないと信じています。また、私は聖書が伝えている通り、私たちは聖書を朗読しなければならないと信じています。私たちは、御言葉の中にいなければなりません。しかし残念ながら、至る所で目にしているのは、多くの人が御言葉の中にいないために、神の御言葉を知らないのです。どういうわけか、その方法を知らないために。そこで私は、「The Word of Promise」を使いたいと思っています。これは英語の聖書のドラマ版で、役者を使い、音楽が入っています。これが素晴らしいのです。それを私は、ここで毎週ライブ配信で15~20分ほど、聖書から2章ずつ再生して、皆と一緒に聞きたいと思います。素晴らしい時間になることでしょう。

ということで皆さん、ペルシャ湾で起こった事、本当に起こっている事について、アップデートを行いました。皆さん、理解しておいてください。トランプ大統領は…、皆、彼に恥をかかせたいのです。民主党支持者は、彼に恥をかかせたくて、ヨーロッパは、彼に恥をかかせたい。イランは、彼に恥をかかせたくて、もちろんメディアは、彼に恥をかかせたいのです。そしてパレスチナは、バーレーンの会議が気に入りません。その研修会の1部を、つい先ほどトランプ大統領が発表しましたが、500億ドルの一部がパレスチナ当局に、それと国内にパレスチナ難民を受け入れるアラブ諸国に投資されるとの事です。パレスチナは、それを望みません。なぜなら彼らは国家が欲しくて、大統領は彼らにそれを与えませんから。パレスチナは、トランプが選挙で負ける事を心待ちにしています。イランは、トランプが選挙で負ける事を心待ちにしています。ヨーロッパは、トランプが選挙で負ける事を心待ちにしています。メディアは、トランプが選挙で負ける事を心待ちにしています。ですから、このイランの仲間を見てください。パレスチナ、それから確実にトルコ、ロシア、メディア、それからすべてのテロ組織、ベネズエラやその他。すべてが、彼が選挙で負ける事を願っています。これが、彼を追い出したい者たちの“クラブ”です。私は彼が再当選することを願っていますが、1つ私に分かっているのは、もし、民主党の候補者がこのアメリカの大統領選で当選すると、

A.ただちにイラン協議が再開される。

B.イスラエルがその代償を払う事になるでしょう。

ということで、繰り返しますが、私は夢の国には住んでいません。私ははっきりと分かっています。エゼキエル戦争が起こるためには、アメリカは弱く、小さくならなければなりません。そうでなければ、どうしてアメリカがイスラエルの味方につき、防衛しないのでしょうか。今は、少なくとも私たちは一時的に素晴らしい友情と平和、繁栄の時代を享受していて、それはトランプ大統領と、アメリカ史上最も友好的な政権のおかげです。しかし、これらは最終的に変わる事は間違いありません。それが大統領選の敗北でない事を私は祈り、願います。おそらくそれは、教会の携挙が原因となってアメリカが力を失い、イスラエルの安全とイスラエルの国防にとって、大きな力ではなくなるのでしょうか。私はそう信じます。私はこれが選択肢である事を願います。以上です。

そのあいだ、私たちは正しい事を行い、私たちはおなかの中のいのちを尊重し、家族を尊重し、イスラエルを支持し、聖書的な価値観を支持する候補者に投票しなければなりません。これを私たちはアメリカで行い、世界中で行わなければなりません。革新的なりべラルが後押しするメディアが、常にソーシャルメディアやテレビ、ラジオから、あまりにも多くの間違った情報、あまりにも多くの嘘や欺きを垂れ流している中では、それは容易な事ではありません。しかし、私達は知っています。

**私たちのうちにおられる方が、この世のうちにいる、あの者よりも力がある。（第1ヨハネ4章4節）**

また、私達は知っています。私がアップデートをするのがとても好きな理由の1つは、今や携帯ひとつあれば、私は小さなサムソンの携帯電話の前に座っているだけで、私の前には精密機器は何もありません。電気と電話があるだけです。今の時代は、照明器具のついた電気と電話があれば、メディアを迂回して、人々に直接、真実を伝える事が出来るのです。

ご視聴くださり、また、このミニストリーをご支援くださり、ありがとうございます。ニュージーランドの方は、8月3日の「Awaiting His Return カンファレンス」に、ぜひお越し下さい。インターネットで登録受付中です。オーストラリアの方は、パース、メルボルンに、Berry Stegner 牧師と一緒に訪れます。座席に限りがありますので、インターネットでご登録ください。それから、皆さんにお伝えしたいのは、インドネシアへのビザが、奇跡的に保証されました。世界最大のムスリム国です。近いうちに、スラバヤとバリで講演します。来週はフランスに行き、トゥールーズ市の異なる3つの教会を訪れます。その前は、英国のパースに息子と一緒に居ます。多くの事が私の人生で起こっていて、多くの事が私の家族の人生に起こっていて、多くの事が世界中で起こっています。しかし、多くの人がこのミニストーリーによって祝福され、ミニストーリーが伝えるメッセージに祝福され、神の御言葉に祝福されているのを見て、私はとても励まされています。

皆さんのお祈りに感謝します。皆さんのご支援に感謝します。私たちと共に立ってくださり、ありがとうございます。数日後に英国のバースより行方、次のアップデートが楽しみです。では、アロンの祝福でこのアップデートを終わらしましょう。

主があなたを祝福し、あなたを守られますように。  
主が御顔をあなたに照らし、あなたを恵まれますように。  
主が御顔をあなたに向け、あなたに平安を与えられますように。  
(民数記6章24節から26節)

あらゆる理解をはるかに超える平安、唯一、平和の主であられる平和の君だけが与えることのできる平和を、今よりとこしえに、ここでもどこでも与えられますように。

イエシュアの御名によって祈ります。

アーメン。

ありがとうございます。シャローム。God bless you!  
皆さんのお祈りに感謝します。

ありがとうございます。

シャローム。ガリラヤよりGod bless you!

さようなら。

メッセージ by Amir Tsarfati / Behold Israel :<http://beholdisrael.org/>

ビホールドイスラエル 日本語 YouTube チャンネル

<https://www.youtube.com/channel/UCLcuvC6Mr63AqwiiXDkwRVQ>

2019.06.30 (Sun)